

収穫が楽しみです 親子らがソバまき体験

8月19日、小口の霧ヶ岳山村文化体験村で「とちぎ夢大地応援団ジュニア育成活動」が行なわれました。

この活動は、子どもたちに農地の保全活動と農業体験をすることにより、農地や農業が果たす役割について理解し、関心を高めてもらおうと行なわれているものです。

町内外から集まった参加者約50人は、休耕田の草刈りを行なった後、ソバの種まきを行ないました。参加者の一人は、「自分でまいたソバを食べるのが楽しみです」と額から流れる汗を拭いながら話してくれました。



三和天祭り

地域に受け継がれてきた祭りを継承しようと8月27日、三和神社で三和天祭りが行われました。9区(三輪・神田町・東戸田)の小、中学生20人が踊る踊りは、40年前から伝えられ、県民俗芸能百選にも選ばれている伝統ある踊りです。

藤田教育長は「神仏を敬う気持ちが、心の中に根付くことが大切」とあいさつ。台風シーズンを迎えて農作物への被害が最小限となるよう神様にし、踊る「うたさぎ」など12景を披露しました。

また、小川地囃子保存会と那須小川まほろば太鼓が賛助出演し、花を添えました。



子ども会 レクリエーション大会

8月20日、子ども育成会主催による第1回子ども会レクリエーション大会が馬頭運動場や小川体育館、小川中学校体育館で開催されました。

小学生のスーパーキックベースボール、中学生のソフトバレーボールやインディアカ、3on3のチームが参加し、熱戦が展開されました。結果は次のとおりです。

スーパーキックベースボール
A 優勝 1区育成会
準優勝 和見育成会



B 優勝 4区育成会
準優勝 大山田育成会
C 優勝 大内育成会
準優勝 盛谷育成会
D 優勝 矢又育成会
準優勝 小砂育成会
ソフトバレーボール
優勝 6区A
準優勝 6区B
インディアカ
優勝 4区A
準優勝 5区B
3on3バスケットボール
優勝 2区A
準優勝 1区A





「道の日」の催しが
行われました

「道」。それは私たちにとって、あまりに身近すぎて、その大切さや存在すら気にもとめない水や空気のようなものです。8月10日の「道の日」は、ふだん注目されない「道」に改めて目を向けてもらおうと行なわれています。

道の駅は全国に約830か所あり栃木県内には14か所あります。「道の駅ばとう」は平成11年に開設して今年で7年が経過し、年間約120万人が利用しています。

会場内には、スピードくじやバザー、金魚すくいなども用意されていて、茨城県から来た親子連れは、当たった招待券を手に「ちょっと戻って広重美術館を見てください」と話していました。訪れた方々は、ドライブの途中の憩いの場「道の駅」の思わぬサービスに喜んでいました。



第14回日本ジャンボリー
参加者激励会

7月26日、町長室において日本ジャンボリーに参加する団員4名の激励会が行われました。

日本ジャンボリーは、海外からの参加者を交えて全国の代表スカウトが一堂に集い、4年に一度行われる、国内で最も大きな国際キャンプ大会です。

今年の大会は8月3日から石川県珠洲市で行われ、ボーイスカウト栃木県連盟那須第2団から、沼田敦志さん(東戸田)、内田健一さん(小川)、安藤健留さん(小川)、平澤和憲さん(小川)の4名が参加しました。

団員の4人は、「ふだんの活動で培ったものをもとに、キャンプ生活を通して生きる力を育み、地域社会におけるスカウト運動の発展と躍進に頑張ります」と話していました。



那珂川町夏まつり
真夏の夜の華麗なショー展開

夏まつり実行委員会主催による第1回夏まつりが8月15日、那珂川を会場に行われました。メインとなる合併記念大花火大会は、若鮎大橋上流の那珂川河川敷で行われ、周辺を含めて約2万人が真夏の夜の色と音の華麗なショーに酔いしれました。

午後7時50分、祝砲とともにスターメインや空中ナイアガラなどの花火約3000発が1時間にわたって那珂川の夜空を彩り、観覧席や沿道から大歓声が上がりました。

また、午前11時から那珂川でアユとマスのつかみ捕りが行われ、親子連れなど約500人が参加し、賑わいを見せていました。水の中の魚と格闘し転んでしまったり、バケツ半分もの魚を捕った人もあり、那珂川の夏まつりを堪能しました。

